

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【池内委員】

<p>所属名 (活動団体名)</p>	<p>芦屋市青少年育成愛護委員会</p>	
<p>活動者数・年代 (概数可)</p>	<p>約200名・30代～80代</p>	<p>あしやトライあぐる https://youtu.be/Q5GgoEVxe6s?t=146</p>
<p>活動目的・内容</p>		
<p>小・中学校の保護者及びそのOB・OGからなる団体で、登下校見守りや、通学路点検、公園や道路の清掃活動を通して子どもたちの非行防止と健全育成に努めています。</p>		
<p>① 自分たちの活動を通してどのような地域をつかっていきたいですか</p>		
<p>地域のおっちゃん・おばちゃんがいる地域づくりを目指し、子育てなどの困りごとを身近に聞ける存在でありたいと思っています。</p>		
<p>② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか</p>		
<p>だんじりや地藏盆など地域のお祭りやイベントに参加していく。</p>		
<p>③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたく思いますか</p>		
<p>「子育て応援団」ならいろんな団体と繋がることができる。</p>		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【山本委員】

所属名 (活動団体名)	打出浜地区福祉委員会	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)	25名・50～70代	
活動目的・内容		
【目的】 誰もが住み慣れた場所でその人らしく暮らせる地域に 【内容】 ・生きがいデイサービス ・高齢者のつどい ・訪問事業 ・地区だよりの発行		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
顔見知りの人が増え、何か困った時に話しを聞いてもらえる関係ができる。 暮らしの役立つ情報を伝え、安心して住み続けられる地域に。		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
閉じこもらずにつどいや生きがいデイサービスに参加して、誰かとつながってほしい。		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
高齢化が進んで、対象となる人が多く、委員の人数が足りていない。 自治会や高齢者生活支援センターと一緒に活動していけたらと思っています。		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【富久委員】

所属名 (活動団体名)	カワセミ	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)	5名・60～90代	
活動目的・内容		
つどい場 おしゃべりサロン「かわせみ」開催 毎月第1・3金曜日 10:00～12:00 第1:フレイル講座、歌の会(出演ボランティアによる) 第3:体操		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
出会った人々にあいさつが出来る関係づくりをしていきたい。		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
住み慣れた地域で多くの友達と楽しく過ごせる地域であって欲しい。 いつまでも住み続けたいと思える様なつながりを持って欲しい。		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
高齢化がすすみ、入居時の活力ある世代が介護が必要となったり、独居世帯になっている。軽度認知症の人も増えていると思います。 子育ての団体等の活動的な団体とのつながりがあればと思います。		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【岡田委員】

所属名 (活動団体名)	芦屋市身体障害者福祉協会	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)	会員数90名、20代～90代	
活動目的・内容		
市内の視覚障害、聴覚障害、内部障害、肢体障害をもつ人たちが前向きに元気に暮らせるように、会員及び会員家族の交流や親睦を深めるとともに、地域の福祉イベント等に積極的に参加したり、障害をもつ者ならではの気づきを行政へ意見具申するなど、地域福祉の増進に努める。		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
障害者や障害者を抱える世帯が孤立することなく、社会の一員として溶け込み、ともに学び、働き、相談し、助け合い、安心して生き生きと暮らせる地域社会		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
<ul style="list-style-type: none"> ・障害があっても、一方的に支援を受ける立場ではなく、社会の一員として役割を担い、持てる力を発揮して活躍したい ・学校園の福祉学習や福祉イベントにおいて、自身の障害内容や生活体験談などを披露し、障害者理解を広めるとともに、自らの生き立ちに誇りや生きがいをもって暮らしたい ・地域の防災訓練や防災活動に積極的に参加し、障害者の所在、障害内容、個別具体的な支援方法などを事前に情報共有し、避難所運営等にも活かしたい ・同じゴミステーションを利用するようなご近所さんとも仲良くなり、すぐに助け合える身近な人間関係も大切にしたい ・障害がある者、ない者が気軽の集えるカフェを開催し、世代を問わず交流をしたい ・行政に対して、普段の生活のお困り事を伝えるだけでなく、自分たちに出来ることや助かっている事例なども伝え、地域づくりに協力したい 		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・会員の高齢化により実働できる人数や活動範囲が狭まる ・入会者数の減少(特に若者の減少)により会存続の危機 ・SNS発信、HP更新等のマンパワー不足 ・個人情報保護の問題もあり、案内状の個別郵送がしにくい 【つながりたい団体】 <ul style="list-style-type: none"> ・マンパワーの強化のため、ボランティア団体、他の障害福祉団体、民生児童員さん、福祉推進員さん、障害者相談員さん等とつながりたい ・施設のバリアフリー化、福祉機器の充実を図るため、商工団体、各種交通機関、行政等と協力したい 		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【岩本委員】

所属名 (活動団体名)	芦屋市民生児童委員協議会	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)	111名・40～70代	
活動目的・内容		
地域の住民が安心、安全な生活ができるよう、関係機関と連携をとりながら、誰もが暮らしやすい町づくりを目指す		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
地域でのつながりを大切に、誰もが安心して生活できるような地域を作っていく		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
問題を抱えこんでいる人に対して、地域とのつながりを求めるのはむずかしい		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
各町に民生委員がいます。もし、問題を抱えた人が誰かに相談してみたいと思われた時、地域の民生委員に相談してみようと思われるような住民との関係作りをしていきたい。民生委員活動の住民への周知。		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【松本委員】

<p>所属名 (活動団体名)</p>	<p>ほっとかへんネットあしや (芦屋市社会福祉法人連絡協議会)</p>	
<p>活動者数・年代 (概数可)</p>	<p>市内21法人・2021年3月発足</p>	
<p>活動目的・内容</p>		
<p>誰一人取り残されない地域共生社会の実現を目指した社会福祉法人のネットワークです。地域共生社会とは、利用者、園児、家族、地域住民、誰もが地域社会の中で存在が肯定され、役割と参加する機会をもち、その人らしくいきいきと暮らしている社会です。社会福祉法人が専門的な支援する側だけでなく、地域の一員として、多様な人々と共に地域内のつながりを豊かにしていくことを目指しています。一つの専門的な分野による支援だけでなく、複数法人が連携することで新たな効果が生まれる取り組みを行っています。</p>		
<p>① 自分たちの活動を通してどのような地域をつかっていきたいですか</p>		
<p>困った人がほっとかれない地域にしていきたい！と思います。</p>		
<p>② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか</p>		
<p>困った時だけでなく、もっと日常的なつながりがある地域になれば、と思います。「支援する・される」の関係を越え、相互性のあるつながりと関わり合いがあつてこそ、地域共生社会が実現されると思います。我々社会福祉法人同士の繋がりもですが、地域の方々が繋がれるきっかけ作りの提供もしていきたいと思います。</p>		
<p>③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていききたいと思いますか</p>		
<p>通常のサービス提供の兼ね合いがあり、時間や曜日など活動の制限があります。それゆえ、対象者が絞られることが懸念材料です。地域の商店や一般企業とつながることで、また新たな取り組みが出来るのではないかと、思います。単年度の取り組みではないので、継続してコツコツ活動していきます。</p>		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【笠谷委員】

所属名 (活動団体名)	株式会社笠谷工務店	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)	1名・50代	
活動目的・内容		
<p>・本来どうあるべきか?を考えた時に、それに近づくための取り組みを行っております。</p> <p>①就労支援 2023年5月より三田谷治療院の利用者の方に花壇のお手入れをしていただいております。 なかなか就業体験の場もないと伺い、本来どうあるべきかを考えた時に、働きたい人が働ききっかけになる場や働くことを経験したい人にそういう場がないとしたら、それは作るべきと考え、当社でできることを実施しています。</p>		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
<p>お互いが今よりも少しでも相手のことを考え、許容できる社会になればと思っています。</p>		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
<p>当社が行っていることは、どここの会社であってもできることだと思います。個人でもできるのかもしれませんが、だから、受け入れ先が増え、社会との接点が増えることそのものに価値があると思います。</p>		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
<p>条件はあると思いますが、受け入れて良いというところはたくさんあると思います。 その際、受け入れ先の条件にある程度合わせるということも必要だと思いますので、色々と調整ごとがあるかもしれませんがクリアしていかないとけないと思います。 ただ、実際に取り組みを進める中で大きな課題は感じておりません。</p> <p>特に団体とのつながりは希望していません。</p>		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【姫野委員】

所属名 (活動団体名)	芦屋老人クラブ連合会	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)	500人・70~90代	
活動目的・内容		
住み馴れた芦屋で安心、安全、健康、笑顔で暮らせる仲間づくりを目指します。 健康ウォークラリー、グランドゴルフ交流大会、マグダーツ、公式輪なげ、秋のスポーツ大会、演芸発表会等、毎年100認から500人集まって、楽しんでおります。		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
会員増強運動を通じて、仲間を増やし、高齢者の居場所づくりを推し進めます。 兵庫県老人クラブ連合会及び諸団体との情報交換や連携を図ると共に、各地域クラブを支援し、健康、生きがい、仲間作りを推し進めます。		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
老人会の活動、自治会の活動を合同で一緒にしていきたい。 45の町の中で10町ぐらいが芦老連の行事に参加していないので、会長を中心に活動して頂けたら、もっと輪が広がると思っています。		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
芦屋市には45の町があり、芦老連を中心に45の町が活動をしています。 各町で活動していくには自治会とつながりを持って、合同でしていきたいと思っています。 私たちの活動の一部をYoutubeにのせていますので見て下さい。		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【帰山委員】

所属名 (活動団体名)	芦屋市社会福祉協議会	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)		
活動目的・内容		
芦屋市社協は、住民が主体となって地域における社会福祉の問題を解決していくために、さまざまな方の協力を得ながら組織的な活動を行っております。 その内容としては、私が関わっている地域活動やボランティア活動への支援をはじめ、精道圏域の高齢者生活支援センターの運営や介護福祉サービス事業などを行っております。 私の社協での活動としては、会議出席や共同募金の街頭募金活動などを行っております。		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
私が活動する朝日ヶ丘地区福祉委員会は民生委員と福祉推進委員の21名で構成されています。 「誰もが安心して暮らせる地域」を目指し様々な活動をしています。 この町の未来は、今住んでいる私たちが作るもの。「今」を住みやすくしていけば、きっと「未来」は明るくあたたかい。そんな居心地の良い地域を目指しています。		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
私たちの活動の対象は地域にお住いの皆様です。 出産後、育児に奮闘されているお宅を訪問したり、ご高齢の方などを訪問対話し、行事にお誘いすることで地域に顔見知りの方を増やし、ご近所さんとのつながりを持ってもらいたいと思っています。不安な時、心配事がある時、さみしいとき、困ったときに相談できる人や窓口が近くにあることを知っていただきたいです。		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
・「福祉」と聞いて「私には関係ない」「福祉のお世話になるのは恥ずかしい」と思われる方がたくさんいらっしゃるように思います。 ・福祉委員を引き受けてくださる方を見つけるのが大変です。 * 社協、東山手高齢者生活支援センターと連携し、指導を仰ぎながら、いざというときに地域の方々と支援窓口の「かけはし」になりたいと思っています。		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【小川委員】

所属名 (活動団体名)	市民参画・協働推進課	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)		
活動目的・内容		
市民の市政に対する参画を促し、市民と行政が協働して住みよいまちづくりを進めることを目的に、自治会活動の支援や、地区集会所及びあしや市民活動センターの管理運営を通じて、地域コミュニティの推進と市民活動の活性化に取り組んでいます。		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
地域住民が自ら課題を認識し、地域の団体や事業者等の多様な主体と連携しながら、主体的に地域課題の解決に取り組むことができるようなまちづくりを目指しています。		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
地域の一番身近なつながりの基盤となるのが自治会になります。地域の人たちが自治会活動に参加したり、運営に関わることを通して、顔の見える関係となり、困ったときに近隣で声をかけたり、相談できる人がいると安心して暮らせるまちになると思います。		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
自治会の役員の高齢化や加入率の減少により、担い手が不足し、自治会運営の負担の増大やイベント等の地域活動の縮小などの課題があります。地域の団体や近隣の町と協力して地域イベントを開催すると、負担の軽減とともに、地域への理解や関心を持ってもらえるような機会を増やすことができます。また、こども会等の地域の子育て世帯が所属する団体とのつながりができると、若い世代との接点ができ、自治会や地域への参加を促しやすくなると思います。		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【北村委員】

所属名 (活動団体名)	多文化共生センターひょうご	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)	スタッフ 5人(30代2名、50代3名)	
活動目的・内容		
<p>【活動目的】 地域に暮らすあらゆる国籍・文化・人種の人々が、ともに暮らしさえあう「多文化共生社会」の促進をめざし、外国人に対する直接支援、また地域に対する働きかけを行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の生活相談 ・日本語学習支援 ・多文化イベント(多文化フェスティバル深江)、地域イベントへの参画 ・外国ルーツの青少年のキャリア形成支援 ・子どもの居場所、学習支援 ・人材育成(講師派遣、インターンシップ受け入れ) 		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
<ul style="list-style-type: none"> ・国籍や人種などの多様性をポジティブに受け止めることができる地域 ・あるべき「ちがい」と、あってはいけない「ちがい」に関する感受性を高める 		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民として、地域づくりにも積極的に参画できるようになってほしい ・若者が多いので、地域の高齢者の支えになってもらえればありがたい 		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の関心がまだ薄い <p>【団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校 ・団体ではないが、民生委員など地域に密着した活動をしている人 		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【竹迫委員】

所属名 (活動団体名)	ナルク芦屋	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)	約100名/211名(146世帯)・70～80代	
活動目的・内容		
<p>【目的】 会員一人ひとりが「自立」「奉仕」「助け合い」を通じて、生きがいと出会い、健康を得て、はつらつとした生活を送る。</p> <p>【内容】 ・高齢者介護施設(エルホーム売店運営)、入所者お風呂あがりの髪乾燥、施設内外の植木の水やり、イベントのサポート、歌の会 ・市内でのイベントボランティア(社協等依頼による) ・会員同士の助け合い、交流会、同好会</p>		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
<p>困ったとき助け合える「共助」の仕組みづくり</p>		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
<p>孤立しない「助けて」と言える近所づきあい、仲間づくり</p>		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
<p>・ひきこもりがちの人、ちょっと気になる人たちのサポート ・子ども会や学生ボランティアグループとの交流(CG.J、あしや部など)、共同事業(清掃、教えてスマホ)</p>		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【浅田委員】

所属名 (活動団体名)	芦屋市教育委員会 学校支援課	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)		
活動目的・内容		
各学校で、人権意識向上を目指した教育活動を、計画し実施する。 様々な体験活動を踏まえて、児童生徒が福祉に係る学びを深める。 特に、トライやる・ウィークに「福祉・体験活動」と活動分野を設定し、事前より関連する学習を含め、生徒達が福祉分野を活動先に希望し、有意義な体験を積み重ねることができた。		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつかっていきたいですか		
こうした取り組みを通じて、福祉の価値を地域全体で共有し、全世代が協力して人に優しい地域を作り上げることができるのではと考えている。		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
児童生徒が福祉に関する学びを深めるための体験活動を充実させていきたい。地域で様々な機関と連携し、児童生徒が実際に福祉現場でのボランティア活動を行い、福祉の重要性を肌で感じることができるような機会をつくることを考えている。例えば、トライやる・ウィークの事前学習を経て福祉活動を体験し、事後学習にてその成果を地域内で共有する取り組みを考えている。		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたく思いますか		
現状の学校の課題は、授業の時数や勉強する内容が多く、子どもに負担がかかり過ぎている、いわゆる「カリキュラム・オーバーロード」の状況である。取り扱う教育活動はいずれも大切なものであるが、整理し、系統立てて教育活動を組み立てる必要がある。ただし、学校と地域との連携は必要だと認識しており、積極的に行っていききたい。学校としても福祉を取り扱う学習活動の目標があるため、地域の方々とは対話を通じて、実際の学習内容を相談したいと考えている。		

芦屋市福祉のまちづくり委員会 事前アンケート

【山田委員】

所属名 (活動団体名)	芦屋市(こども福祉部)	活動写真・データ(あれば)
活動者数・年代 (概数可)		
活動目的・内容		
「みんなの参加と協働により、誰もが自分らしく心地よく暮らせる地域共生社会をつくること」を基本理念とした地域福祉計画(現在第4次芦屋市地域福祉計画)に基づき活動や事業を展開している。市は、地域共生社会の実現に向けた仕組みづくりを進める責任主体として、分野や相談内容を問わない総合相談窓口と、幅広く権利擁護に関する相談支援を行う権利擁護支援センターを設置。相談支援体制の強化に向け、連携・協働の推進、ネットワーク構築に必要な体制づくりのための協議体や場の設定、地域づくりに向けた環境整備を進めている。		
① 自分たちの活動を通してどのような地域をつくっていきたいですか		
地域の課題を我が事として捉え、地域にかかわる人が力を合わせて支え合い、生活をともに楽しむ地域。顔の見える関係性を築くことができる地域。		
② 自分たちの活動の対象としている人たちが地域とどのようなつながりを持ってほしいと思いますか		
何か困ったことがあった場合に、地域の人に相談できるようつながりをもってほしい。		
③ ①②のために、どのような課題がありますか／どのような団体とつながっていきたいと思いますか		
各相談支援機関の認知度が低いため更なる周知が必要。 地域住民の理解が必要なこともあるため、更なる連携が必要。		